

応用数学 III 小テスト 1,2 時限

1. 以下に示す微分方程式を, 標準形式に変換せよ.

$$ml^2\ddot{\theta} + mgl \sin \theta = -K_p(\theta - \theta^d) - K_I \int_0^t (\theta(\tau) - \theta^d) d\tau$$

( $m, l, g, \theta^d, K_p, K_I$  は定数)

2. 水平面内を質点が運動する. 質点の座標を  $(x, y)$  で表す. 質点の位置が曲線

$$y - \sqrt{x^2 + (y - b)^2} = a \quad (a, b \text{ は定数})$$

上に制約される. 制約安定化の式を  $x, y, v_x \triangleq \dot{x}, v_y \triangleq \dot{y}$  を用いて表せ.

応用数学 III 小テスト 3,4 時限

1. 以下に示す微分方程式を, 標準形式に変換せよ.

$$ml^2\ddot{\theta} + b\dot{\theta} + mgl \sin \theta = -K_I \int_0^t (\theta(\tau) - \theta^d) d\tau$$

( $m, l, b, g, \theta^d, K_I$  は定数)

2. 水平面内を質点が運動する. 質点の座標を  $(x, y)$  で表す. 質点の位置が曲線

$$\sqrt{(x+a)^2 + y^2} + \sqrt{(x-a)^2 + y^2} = 2b \quad (a, b \text{ は正の定数} \cdot a < b)$$

上に制約される. 制約安定化の式を  $x, y, v_x \triangleq \dot{x}, v_y \triangleq \dot{y}$  を用いて表せ.